

平成24年度ごみゼロ施策の取組結果の報告

1 生ごみの減量化に向けた取組

(1) もったいない普及啓発事業

- ・ 小学生向けのテキスト「めざそう！もったいない名人」（完成版）を活用した、小学生を対象とした環境学習の場の拡大を目指しました。
- ・ 取組内容は以下のとおりです。
 - ① 環境フェア等のイベントで「もったいないテキスト」を配布
 - ② 県内で環境学習に取り組むNPO団体等と連携して「もったいないテキスト」を活用してもらうことを働きかけ
 - ③ 志摩市・玉城町で次年度からの環境教育の実施に向けた調整を実施
 - ④ いなべ市・名張市・津市・亀山市の各市で実施している出前授業や施設見学の場で「もったいないテキスト」を配布してもらうよう調整
 - ⑤ 小学校の社会見学等が実施されている事業者の工場で「もったいないテキスト」の配布が可能か調整
 - ⑥ 講師に活用していただくための導入用資料を作成

2 市町・NPO・地域団体等と連携した取組

(1) ごみゼロプラン推進モデル事業の実施状況と成果の普及

●ごみゼロプラン推進モデル事業の実施状況

平成17～22年度において、市町が行う先駆的・実験的なモデル事業に対し支援を行ないました（表1）。

このモデル事業については、6年間の実施により一定の成果が蓄積されたことから、平成23年度に、これらの市町の事業の推移を点検・評価し、平成24年度に、その結果を取りまとめた成功事例メニューを作成し、成果のあった事業の水平展開を図っていくことに重点を移すこととしました。

平成25年度から県の地域機関とともに市町の課題等を把握し、モデル事業の成功事例メニューの提示等による具体的な課題解決方法の検討を行っていきます。

表1 ごみゼロプラン推進モデル事業の実施状況

年度	市町名	事業名
22	名張市	生ごみ等の回収及び資源化システムの実証実験事業
	伊勢市	事業系ごみの減量化等に関する検討事業
	大台町	地域密着型生ごみ等の回収・資源化システム構築検討事業

21	鳥羽市	島内における資源循環モデル検討事業
	名張市	福祉・地域づくりと一体となったごみ収集システム等検討事業
	四日市市	複合的なごみ減量・リサイクル施策検討事業
20	伊賀市・名張市	レジ袋有料化検討事業
	松阪市等(※)	レジ袋有料化検討事業 ※松阪市・多気町・明和町・大台町・玉城町・大紀町
	鳥羽市	事業系食品廃棄物再資源化システム検討事業
19	伊勢市	レジ袋削減(有料化の導入)検討事業
		埋立ごみ(ガラス等)の分別収集システム検討事業
	津市	エコパートナー・ネットワーク推進事業
18	東員町	町民参画によるごみ処理基本計画づくり
	鳥羽市	リサイクルパーク整備・運営事業
		事業系ごみ減量化手法検討調査
17	桑名市	市民参画によるごみ処理基本計画づくり
	伊賀市	家庭ごみの有料化制度の導入検討
	紀宝町	生ごみ堆肥化システムの実証実験

●その後の推移と成果の普及

各市町の事業の推移については、伊勢市から始まったレジ袋の有料化の取組が、順次広がりを見せ、平成24年4月から菰野町で事業者の取組みとして実施されたことにより、現在県内29市町(人口カバー率100%)で実施されるなど、着実に成果を見ています(表2)。

表2 主なモデル事業のその後の推移

年度	市町名	事業の成果	その後の推移
22	伊勢市	・事業系ごみの組成分析調査を実施 ・生ごみ分別排出へは事業者の一定の理解がある	・スーパー2社が自主的に厨芥類の堆肥化を開始
17	紀宝町	・84世帯、8事業所が生ごみ堆肥化実証試験に参加	・現在150世帯、9事業所まで参加者が増加し32トンの生ごみを堆肥化

18	鳥羽市	・NPO 運営のリサイクルネットワークを整備	・22年度リサイクルネットワーク利用者数 21,646人、資源回収量 250t まで増加
21	鳥羽市	・離島である神島で生ごみのリサイクルプラントを構築	・収集運搬費用の削減 ・島内でのループの確立
21	名張市	・拠点回収の確立 ・要援護者世帯の安否確認を兼ねたボランティアによる戸別回収	・3地区 650 戸で有償ボランティアが安否確認を行いながら戸別に回収 ・収集コスト削減、環境負荷低減
17	伊賀市	・家庭ごみ有料化の提言 ・ごみ分別ハンドブックの作成	・19年から有料化を実施 ・有料化から3年経過しても減量効果は継続

(2) 地域ごみゼロネットワークの実施状況

ごみ減量化や資源化などの環境配慮の取組の広域化・活性化のため、日頃から住民やNPOとの関わりが深い地域機関のネットワークを活用し、住民やNPOなどとの協働によりワークショップやイベントなどの事業を実施しています。平成24年度の実施状況は表3のとおりです。

表3 地域ごみゼロネットワーク実施状況

地域機関	名称	概要	参加者数
桑名	ごみゼロ交流会 in 水郷フェスタ	水郷フェスタ2012に、ごみゼロをテーマとしたブースを出展	約300名
四日市 鈴鹿	第12回鈴鹿川流域の環境展	ごみゼロクイズラリー／エコフラワーを作ろう／ゼロ吉ぬりえ	293名
津	循環野菜の収穫体験と生ごみの堆肥化見学ツアー（有限会社三功様）	生ごみ堆肥化見学／循環野菜の収穫体験	30名
松阪	松阪地域こどもエコクッキング	小学生を対象としたエコクッキングの実施	14名
伊勢 尾鷲 熊野	平成24年度東紀州・伊勢志摩ごみゼロ交流会	3地域におけるごみゼロの取組発表及び意見交換／神宮宮域林の見学	50名

伊賀	伊賀地域ごみゼロ推進交流会 in 久米川クリーンウォーキング	久米川クリーンウォーキングとあわせて実施。ごみ拾い／ごみゼロに係るパネル等の展示／堆肥配布	55名
----	-----------------------------------	---	-----

(2) 一般廃棄物行政連絡会議の実施状況

本連絡会議は、一般廃棄物行政の様々な課題に対応するため、県内市町、国、県が連携を図り、情報共有や意見交換などを行うことを目的に実施しています。

平成24年度の実施状況は表4のとおりであり、今後も市町のニーズに応じて、タイムリーな話題も取り上げながら実施してまいります。

表4 一般廃棄物行政連絡会議の実施状況

	日時	主な議題	参加数
第1回	平成24年9月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・最近の廃棄物行政に関する情報提供(国) ・県のごみゼロ施策の取組について ・中部圏ごみゼロ社会実現推進会議報告 	25市町・5組合
第2回	平成25年2月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみゼロプラン推進モデル事業の成果の普及について ・ごみ処理カルテ・廃棄物会計の活用について ・民間資源化量調査結果について ・ビルビット汚泥の取扱いについて ・震災廃棄物対策指針について(国) 	27市町・3組合

(3) ごみ処理システムの最適化(ごみ処理カルテ・廃棄物会計の活用促進)

●市町ごみ処理カルテとは

市町が把握・公開していたこれまでのごみ処理に関するデータに加え、廃棄物会計のコスト情報や環境負荷の評価結果、住民や事業者の取組状況等のデータを用いて、ごみ処理システムの現状や課題について総合的に分析することにより、強みや弱みを明確にするためのツールです。

●平成24年12月に導入市町等へ利用状況等を把握するためのアンケート調査を実施

アンケート調査の結果、以下のような要望をいただきました。

① 廃棄物会計

- ・ 操作研修の希望
- ・ 各種費用をどこに入れるべきかが曖昧なので、費用の仕訳基準などの統一的な基準を知りたい

② ごみ処理カルテ

- ・ 操作研修の希望
- ・ 議会や住民への説明資料として使ってはいるが、各種指標を改善していくための、具体的な活用方法を知りたい

● 今後の予定

調査結果を踏まえて、ごみ処理カルテと廃棄物会計の活用に向けた説明会を実施していく予定です。

3 ごみゼロ普及啓発

平成24年度に実施した普及啓発活動については、表5のとおりです。今後も、ごみゼロキャラクター「ゼロ吉」を活用したごみ減量化の広報、普及啓発を行っていきます。

表5 ごみゼロ普及啓発の実施状況

普及啓発方法	詳細	回数等
イベント参加	・みえこどもエコフェア（3択クイズ） ・環境フェア2012（展示）	2件
県庁見学	・小学生の社会見学の受入	2回
普及啓発物品の製作	・名刺	30,000枚
ゼロ吉貸出	・各団体等へのゼロ吉貸出	15回

